

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ユニバーサルアクティビティ in 山ノ内
事業主体	ユニバーサルアクティビティ丸池
(連絡先)	09059919137
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業（特色ある観光づくり）
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,198,800 円（うち支援金：820,000 円）

事業内容

- ・現在、地獄谷へは現状車いすでアプローチ不可。
- このエリアへの潜在的観光需要は非常に高く、効果的で安心安全なノウハウを得る事は非常に重要である。よって特別な機材を持ち込むことによって不整地へのアプローチが出来るため、機材を用いて専門知識を車椅子ユーザー家族、サポーター達に学んでもらう。
- ・琵琶池で、車椅子ユーザーとその家族と共に SUP 体験、宿泊先の旅館でヘルパーによる入浴介助。
- 上記の事業を通じ、施設側にも道具と人材でバリアパスに繋がることを理解してもらう。

事業効果

ヒッポSUP・地獄谷

- 目的 弱者の旅先の選択肢の拡大・留守番、待機の解消。
- 実施 ・講師によるジンリキを使用した不整地での実演指導。
- ・ヒッポサップでアクティビティ
- 効果 専門機材があることで行動範囲が広がり、誰一人取り残されることがない環境を作り上げることができる。

宿泊先

- 目的 宿泊施設側のバリアパスの理解を深める。
- 実施 宿泊先にて専門家による入浴介助、バリアパス。
- 必要な道具を持ち込んで講師による実演。
- 効果 専門家が必要な道具を用いてサポートすることで、家族の負担が減り、宿泊施設側のソフト、ハード面に対する心配が解消され、弱者を受け入れやすくなる。

参加者より

- ・福祉の仕事をしていても、ジンリキのような機材があることを知らず、不整地を問題なく車いすで走行できることに感激した。地獄谷に行こうと考えたことすらなかったので車いすユーザーの世界が広がると確信した。
- ・今回のツアーを通して、専門機材と人材が揃うことで様々な場面でのハード、ソフトをほぼ解消でき、ユニバーサルツーリズムの実現が可能になるであろう。
- ・今回のようなツアーがどこに行っても体験できるようになってほしい。

今後の取り組み

- ・夏季に加え、冬季のアクティビティのモニターツアーの実施。
- ・今回のモニターツアーをベースに当事者のニーズに合った旅行プランの提案。
- ・今後、行政とも連携を取り、今回のツアーをモデルとし、ユニバーサルツーリズムに特化した町づくりにつなげていく。
- ・インクルーシブ教育にも繋げられるように、町内の学校の行事にも協力し、拡大できるようにしていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【目標・ねらい】

- ① 旅行先の選択
- ② 宿泊施設側のハード・ソフト面の対応
- ③ ユニバーサルツーリズムの実現

※自己評価【B】

【理由】

- ・関係各位との綿密な打ち合わせと準備、講師とサポーターの技術、能力が高く、連携が素晴らしかった。
- ・参加者全員がトラブルなく、全力で楽しめた。
- ・モニターに「とても楽しかった、又来ます。」と言ってもらえた。
- ・笑顔と笑い満載のツアーができた。